



湘北短期大学の SDGs について ご紹介するニュースレターです

～発行者からのお知らせ～

今年度から、Web サイト湘北 SDGs を開設し、授業や大学全体の取り組みを紹介しています。

ニュースレターでは、Web サイトに掲載した記事の中から、学科の授業や部門ごとの活動を、カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は地域に根ざした教育機関として「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、社会課題の解決にむけて持続可能な未来の創り手を社会に送り出していきたいと思います。



Web サイト湘北 SDGs ↑
最新のニュースは「取り組み」から、第 1 号から第 10 号は「ニュースレター」にてご覧いただけます。

今号に関連する SDGs



湘北 SDGs

福祉委員会特集

Think Globally, Act Locally.

2023 年度 第 5 号

(通算第 11 号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学 生活プロデュース学科

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

【委員会活動】盲導犬募金と、盲導犬にポスターと標語制作の取り組み

(2023 年 6 月～10 月)

本学の学生組織である福祉委員会が、6 月から 7 月にかけて学内に呼びかけた盲導犬募金活動には、13,610 円の募金が集まり、8 月 18 日に日本盲導犬協会に寄付しました。今年度は、募金を呼びかけた同期間に「盲導犬の普及・育成・周知に関するポスターと標語の制作」を学内で募集しました。応募者は、本やインターネット、YouTube 等で調べた上で制作し、ポスター部門には 33 点、標語部門には 37 点と多くの応募がありました。

今回は健常者、目が見えない人、盲導犬等、いろいろな立場から盲導犬について考える作品が集まりました。各部門から学長賞と福祉委員会賞が 1 点ずつ選出され、受賞者は 10 月開催の湘北祭開会式にて高野瀬学長から表



彰を受けました。応募作品は湘北祭期間中、福祉委員会主催のバザー会場で展示され、多くの方に見ていただきました。バザーの収益金のうち、5,030 円が年度末に日本盲導犬協会に再度寄付されました。

【委員会活動】通学路をきれいに～クリーンキャンペーン

(2023 年 10 月)

2023 年 10 月 26 日 (木) に、福祉委員会主催のクリーンキャンペーンを行いました。クリーンキャンペーンとは、湘北短期大学の学生、教職員が誰でも気軽に参加できる地域貢献ボランティア活動で、通学路を清掃します。1999 年から毎年 4～5 回行っていたのですが、コロナ禍で休止していました。今回は 4 年ぶりの開催で、福祉委員会のメンバーが道具の確認から企画、学生への呼びかけまで行いました。当日の朝、本厚木駅前に受付を設置し、参加者にトンゴ、軍手、ビニール袋を配布しました。スタート後は本厚木駅から大学までの約 2km の道のりを、ゴミを見つけ、拾いながら歩きました。今回は約 60 名の学生、教職員が参加しました。次回はもう少し参加人数を伸ばしたい、そのためにはどうすればいいのか検討していきたいと主催者は話しています。

実施後のアンケートには下記のような感想が寄せられました。

(裏面につづく)





「朝から歩くのは爽快だった」、「始めは大変そうだと思っていましたが、実際に行ってみるととても清々しい気持ちになりました」、「タバコの吸い殻が至るところに捨ててあって、『こんな事する人がまだいるんだな』と思いました」、「地域の方に『ありがとう』とお声かけいただき、気持ちの良い朝になりました」、「学生が楽しそうに清掃活動に参加されていて、嫌々やらされているわけではない、とてもいいイベントだと感じました」学生が参加しやすい時期や時間帯の検討、ビニール袋の大きさなど、改善点を踏まえて、次回に臨みたいと思っています。

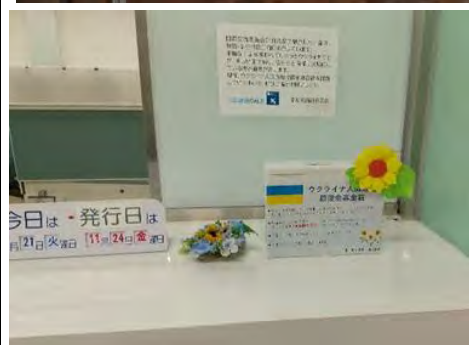
【委員会活動】小学生の秋のイベントに学生ボランティアとして参加～毛利台小学校三つ矢ふれあい祭り

(2023 年 11 月 23 日)

2023 年 11 月、毛利台小学校の秋のイベント「三つ矢ふれあい祭り」に、福祉委員会メンバーが学生ボランティアとして参加しました。イベントは、小学校 PTA や青少年健全育成会の方々が考えた様々なアクティビティがありましたが、その一つとして学生企画「らくがきせんべい」を行いました。入口看板を作成し、当日は教室内の装飾をして準備をしました。祭りがスタートすると、子どもたちが一斉に押し寄せ、せんべいの上にシロップでイラストを描いた後、色とりどりの砂糖を振りかけて完成させ、大人気になりました。参加学生 9 名は「子どもたちはとても元気で礼儀正しく、教えていて非常に楽しかった」、「1 年生から 6 年生まで多くの子どもたちが楽しめていたので、やってよかったなと思いました」、「かなり緊張しましたが、子どもたちがうれしそうな表情だったので、こちらもうれしくなりました」と感想を寄せていました。



【委員会活動】ウクライナ人道危機救援金募金箱設置 (2023 年 10 月～12 月)



福祉委員会が 10 月中旬から 12 月下旬まで学内に呼びかけたウクライナ人道危機救援金募金活動には、12,047 円の募金が集まり、1 月 15 日に日本赤十字社に寄付しました。

1 号館 1 階教務・学生部前に設置した募金箱は、福祉委員会が製作しました。以下、募金箱に書かれた文面です。

【ウクライナでは、各地で激化した戦闘によりインフラ被害や死傷者が発生しており、多くの方々が周辺国へ避難している状況です。／皆様からいただいた募金は、日本赤十字社が募集を行っている「ウクライナ人道危機救援金」へ送金させていただきます。／現在、湘北短期大学ではウクライナ人の職員もおります。／皆様の温かいご支援・ご協力をお願いします。湘北短期大学 福祉委員会】

また、10 月開催の湘北祭で国際交流委員会が製作した「世界遺産巡り」ポスターのうち、ウクライナを取り上げていたものをお借りして募金箱付近に掲示しました。

(福祉委員会顧問 教務・学生部 高橋博子)